

忙しい毎日…でもちよつとだけ、立ち止まって考えてみませんか？

# わたしたちの大切な平和のことをピースアクション2009

《よどがわ》では、毎年、地域で平和について考えるとりくみ「ピースアクション」をおこなっています。今年も各行政区委員会が工夫してさまざまな取り組みをおこなっています。

「日本国憲法には、大事なことが書かれていると知りました」

平和グループ主催

6月19日  
「これくらいは知っておきたい」  
〜暮らしにかかわる憲法の話〜  
茨木クリエイトセンター 参加 40名

いま、憲法を改定しようという動きがあります。でも「そもそも憲法のこと、よく知らないのでは」と、関西勤労者教育協会講師・中田進さんを講師に学習しました。



最初に平和グループによる朗読劇を上演。原爆が落とされる瞬間までの、何気ない日常の朝の子どもの様子を、子どもを亡くした母の語りて構成されたものです。会場はしんと静まり返り、涙をぬぐう姿も。

講演では、日本国憲法は人類の長い歴史の努力の成果であり、世界の憲法や国連憲章の良いところを集めて誕生したことや、毎日のくらしの中の基本的な権利の内容について、ユーモアをまじえ分かりやすくお話いただきました。

平和グループ常本さんは「憲法が持つ大きな力を改めて知りました。来年5月には国民投票法が施行されます。憲法を守るたたかいを強めなければと強く感じました。先



生が最後に話された『知は力』ですとの言葉が心に残っています。これからも学習を深めていきたいと思います」

参加者の感想

●憲法は、時代に合わせて変えることが必要だと思っていました。素晴らしい中身であると感心し、守ることの大切さも知りました。小4の娘にも聞かせたい。

●憲法9条が社会的に話題になっているので参加してみようと思いました。憲法という堅苦しいイメージがありました。憲法が、つくづく憲法の大切さを知りました。

「戦争を知らない私たち。戦争体験を生懸命『想像力』を働かせて受けとめ、子どもたちに伝えたい」

吹田行政区委員会主催

6月23日  
生協本部 ピース・カフェ  
詩の朗読&戦争体験のお話 参加 18名

「死んだ男の残したものは」の詩の朗読と、戦時中4歳だった組合員さんの体験談として、空襲でお姉ちゃんと避難したことがとても怖かったことなどを聞き、参加者皆さんで感想を出し合いました。



参加者の感想

●毎日子育りに追われて、平和とか戦争のことを考える時間がなかったの



で、こういう機会はありませんか？

●お話を聞いて、なぜ戦争が起こるのかと疑問に思いました。

●祖父は戦死、母は4才の時に大阪大空襲で焼け出され「街中に死んだ人がいた」という話を聞いたことがあります。でも、「どこか「人ごと」で済ませていました。おじさんも戦争体験がありますが一切話しません。今日聞いたことを4歳になる子どもに聞かせたいと思います。

## 高槻行政区 平和のつどい

高槻行政区委員会主催

6月25日  
高槻市総合市民交流センター 参加 24名

ユニセフのボランティア活動って？

財団法人日本ユニセフ協会大阪支部 ボランティアの片山はるみさんにユニセフの活動を紹介して頂きました。

ユニセフが誕生したいきさつ、現在募金が集まると、現地の要望や意見を聞き支援活動をされている事など紹介して頂きました。特に印象的だったのが、ある国の子ども達は、「少しのごつた色の水」しか知らないの、ペットボトルに入った「無色透明な水」を提供しても、最初は敬遠して飲まなかったというお話は、すごい衝撃を受けました。



NEWS FILE

## 「ニューズファイル」【バケツ稲とアクセサリー】

「田植え」ツアーが中止…「バケツ稲って!?!」

環

境こだわり米「コシヒカリ」の産地・滋賀県日野町での毎年恒例の田植えツアー、今年は5月23日の予定でしたが、新型インフルエンザ感染防止のため中止させていただきました。

せめて田植えの気分を味わって

ただただと、参加申込みされた組合員さんに家庭で育てるバケツ稲セットをプレゼントすることに。全農パールライスの高岡さんが田んぼの土の入ったバケツ15個を、はるばる滋賀県より車で吹田市の生協本部へ届けて下さいました。

組合員1家族に1つずつ「バケツ稲」セット、「種ミミ」と「育て方」の冊子をお届けしました。

皆さんが育てた「バケツ稲だより」は《よどがわ》ホームページで紹介しています。ぜひ、ご覧下さい。

## 文化グループ主催 「ネクタイリフォームからアクセサリー作り」 父の形見のネクタイが ステキなアクセサリーに変身!

6月8日(月)、吹田市勤労者会館に19名の組合員さんが集まりました。それぞれが色とりどりのネクタイを持参。お父さんや亡くなったご主人の思い出のあるネクタイだそうす。

文化グループ代表の大久保明美さんから作り方を説明した後、作業開始。ネクタイをほどき、柄のいいところをネクタイサイズに裁断する頃は、初対面でも話はずみながら作業は楽しくすすみ、1時間もするとほとんどの方が完成しました。隣同士で品評会も行ないました。皆さん帰りに完成したネックレスを付けてかえられました。



「6月1日に植えた苗を妻と子どもが育てて、6月19日にはこんなに大きく成長しました。僕の役割は出勤前の水やりです」と田植えツアーに応募された駒井一行さんよりメールが届きました。

《よどがわ》ホームページアドレス  
<http://www.yodogawa.coop/>

参加者の感想

●とても簡単でした(思ったより)。父が亡くなってネクタイがたくさん残り、兄弟やいとこにあげても、まだまだあつて処分に困っていました。これなら女性の方にも形見わけとしてあげられるのでとても良かったです。

●簡単に作れて、オリジナル、エコ、そしておしゃれ！今回は機関紙でまた見つけて申込みをさせてもらい、ラッキーでした。話見もあり、息抜きにもなりました。このような楽しい企画であれば、また参加したいです。